



織物参考館 “紫”

織物参考館“紫”

場所=東四丁目2-24

見学・体験=午前10時から午後4時まで。月曜日は休館。

※団体見学や体験は、事前に予約が必要です。

見学料=大人700円、大・専門学生600円、高校・中学生500円、小学生400円

駐車場=有り

問い合わせ=織物参考館“紫”
(☎45-3111)、文化財保護課文化財保護係 (☎内線622)

日本遺産とは
地域の歴史的の魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語る物語と、それを構成する文化財を「日本遺産」として文化庁が認定したものです。

国登録文化財が 見学・体験施設に

織物参考館“紫”は、森秀織物工場の一部を利用して昭和56年に開館しました。桐生の織物の技術と歴史を学び、染色や手織りを体験できる施設として、市内外を問わず全国各地から見学者が訪れます。

敷地内には、のこぎり屋根の展示・手織り体験施設、染色体験の釜場のほか、旧撚糸場、旧土蔵、旧寄宿舎、森島家住宅の母屋など15の施設が国の登録有形文化財となっています。

森秀織物は、大正13年頃に本格的な操業を始めたといわれています。高級織物であるお召専門の機屋であり、戦時中も技術保存業者として企業統制を免れ、織機の供出もなく、戦後、いち早く織物生産を再開しました。

現在でも、その技術を生かし、文楽人形の衣装や歌舞伎の装束などが織り上げられています。



多くの学校が 社会科見学を訪れます

小学校を中心に、年間約150校の見学・体験を受け入れています。この日も、相生小学校の3年生が熱心に解説員の話の聴き、興味を持って染物を体験していました。

今月の表紙

10月15日(土)に桐生が岡遊園地で、きりゅうイルミネーションナイトが開催されました。イルミネーションで飾られた幻想的な遊園地を楽しみに多くの方が訪れました。普段は入ることができない夜の遊園地を多くの方が楽しんでいました。

人口と世帯

(9月30日現在)

人口	115,745人 (-111人)
男	55,746人 (-36人)
女	59,999人 (-75人)
世帯	50,000世帯 (+11世帯)

()内は前月比

今月の納税

国民健康保険税…第5期

11月30日(水)が納期限です。

コンビニエンスストアや銀行などのペイジー対応ATMからも納付可能です。口座振替を利用している人は、預貯金残高の御確認をお願いします。

広告